

EMC実践講座「講座の流れ」



座学

他のセミナーや講座は、座学のみのところが多いです。もちろん本講座でも座学を行いますが、それだけでは終わりません！基礎から始めるので、初心者の方も安心して受講してください！

ツールの勉強

・CADLUS(ニソール)
・SignalAdviser-SI(富士通)
・DEMITASNX(NEC)
使い方について各メーカーの開発者が説明してくれます。 **どんな質問もOKです！**

他社の技術者と協力し合うことで、様々な意見や考えを吸収できるため、受講者から好評をいただいています！

回路図を作る

ここからグループ活動です。ここでは、ノイズを考慮していない回路図をベースに対策を考えます。回路図を作る段階がいかに重要か、あとで実感できます。

グループワーク

アートワーク作成

回路設計者にも基板を設計していただきます。これが本セミナーの大きな特徴の一つです。ちょっとしたグラウンド変更など、自分でやってしまいましょう。とはいえ、それほど簡単ではないことがお分かり頂けるはずです。



基板製作①

1次評価

電波暗室に基板を持ち込み、放射ノイズの測定を行います。

対策①

いろいろ対策をしても、期待した程の効果は上がらないかも知れません。



アートワーク変更

対策①の結果を踏まえて改版基板の設計を行います。回路図から見直すことになるかも・・・

基板製作②

2次評価

電波暗室に基板を持ち込み、改版基板の放射ノイズを測定します。①の基板よりも結果が良くなることもあれば、悪くなることも・・・



対策②

まとめ

最後はグループごとに発表です！成功事例や苦労した点など、結果を比較することによって、どの設計法がノイズの低減に役立つのかを知ることができます。

回路図を作成するところから全てグループ活動です。
「ノイズの知識がないから参加できない・・・」「自信がない」など悩みは不要です！
親切な仲間がすぐにできますよ。